



# 岩手県グリーン/ブルーボンド（令和7年度発行） インパクトレポート・ブック

令和8年5月 速報版





# 目次

## 岩手県とSDGsの関わり

① 岩手県の概要	3
② 東日本大震災津波からの復旧・復興	4
③ いわて県民計画（2019～2028）	5
④ 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画	6

## 岩手県グリーン/ブルーボンドの概要

① グリーン/ブルーボンドについて	8
② 発行概要	9
③ 投資表明一覧	10

## フレームワークに基づくレポーティング

① 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング	12
② 主な資金使途について	13

- 岩手県では、令和7年7月、県として3回目となるグリーン/ブルーボンドを発行しました。
- 令和5年度の初回債においては、環境省が主催する第5回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン（金融部門-資金調達者部門）において「環境大臣賞 銀賞」を、一般社団法人環境金融研究機構が主催する第9回サステナブルファイナンス大賞において「地域金融賞」を獲得しました。

第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン  
「環境大臣賞 銀賞」受賞（金融部門-資金調達者部門）



令和6年2月19日表彰式当日の様子  
（左：達増知事、右：伊藤環境大臣）

# 岩手県とSDGsの関わり



# 岩手県の概要



本県は本州の北東部に位置し、東西約122キロメートル、南北約189キロメートルと南北に長い楕円の形をしています。その広さは北海道に次ぐ面積であり、日本の面積の4%を占めています

## 岩手県の地勢

- 内陸部の大部分は山岳丘陵地帯で占められ、西側には秋田県との県境に奥羽山脈があり、これと並行して東部には北上高地が広がっています。そして、この二つの山系の間を北上川が南に流れ、その流域に平野が広がっています
- 沿岸部は、宮古市より北では、典型的な隆起海岸で、海食崖や海岸段丘が発達しています。一方、宮古市より南側は北上高地の裾野が沈水してできた、日本における代表的なリアス式海岸で、対照的な景観をみせています

## 岩手県の気候

- 奥羽山脈の山沿い地方は、冬に雪の多い日本海側の気候を、北上高地は高原性、盆地性の気候を示します。また、北上川沿いの平野部は、一般的に冬は寒さがきびしく、夏は暑い内陸性の気候を示します
- 沿岸部では海洋性の気候を示しますが、宮古市以北では寒流の影響のため一般的に気温が低く、冷害などの気象災害がおこりがちです



岩手山（八幡平市、滝沢市、雫石町）



山王岩（宮古市）

【出所】

図：いわてデジタルマップ

左写真：#iiiwateフォトコンテスト2019入賞「威厳」

右写真：#iiiwateフォトコンテスト2021入賞「白亜紀の記憶 三王岩」

# 東日本大震災津波からの復旧・復興

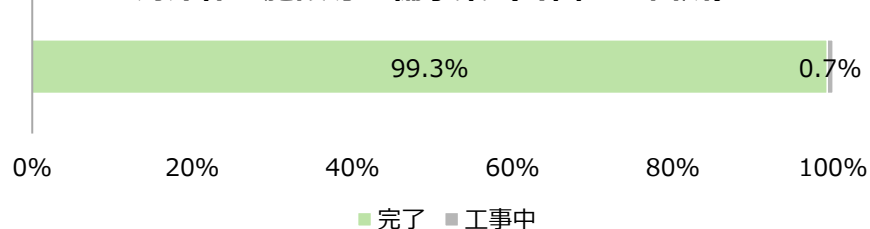


国からの手厚い財政措置などにより、復旧・復興事業は着実に進展してきました  
復興道路が令和3年12月に全線開通、災害公営住宅の整備が令和2年12月までに完了、商業施設や水産加工施設が順次再開されるなど、計画されたハード事業の多くが完了しました

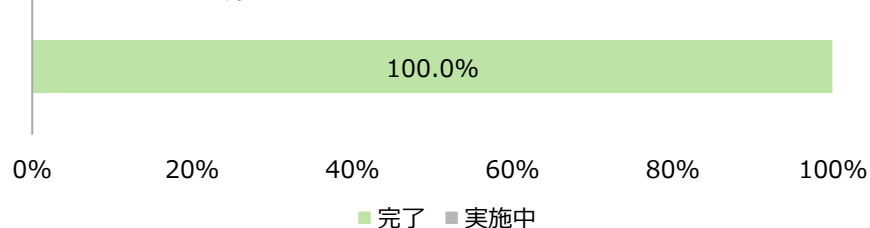
## 主な復興事業の進捗状況（令和8年3月31日時点）

### 安全の確保

#### 海岸保全施設等整備事業（計画113箇所）

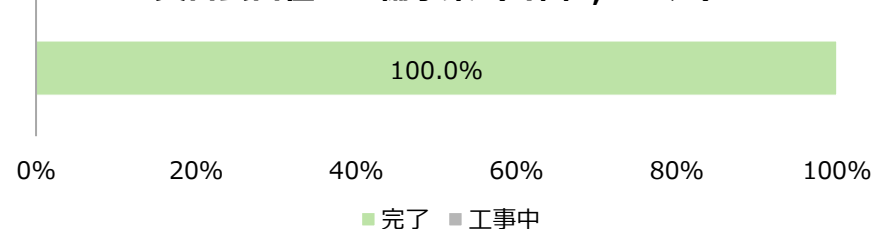


#### まちづくり連携道路整備事業（計画32箇所）



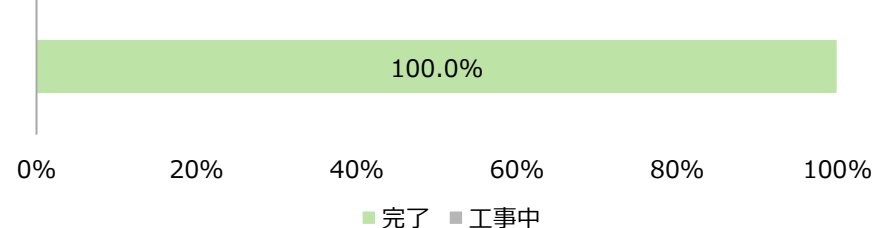
### 暮らしの再建

#### 災害公営住宅整備事業（計画5,833戸）



### なりわいの再生

#### 漁港災害復旧事業（計画31漁港）





# いわて県民計画（2019～2028）

本県では、「幸福」をキーワードとする10年間の長期計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、幸福を実感できる地域社会の実現に向けて取組を進めています

## 「いわて県民計画」とは

- 復興施策も含めた県行政の全般にわたる政策や施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める県の最上位計画
- 2019年度から2028年度の10年間を計画期間としている

## 基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

## SDGsとのかかわり

- SDGsが掲げる「誰一人として取り残さない」という基本方針は、いわて県民計画（2019～2028）における、幸福を守り育てようとする考え方と相通じるものです
- 本県も、計画の推進・取組の展開を通して、次世代にも幸福を引き継いでいけるよう、持続可能な社会の構築に取り組んでいくこととしています



いわて県民計画 長期ビジョン



# 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画

本県は、「温室効果ガス排出量の2050年度実質ゼロ」を目指し、県民や事業者、行政などの各主体が一体となって、気候変動の原因となる温室効果ガス排出削減対策の緩和策と、気候変動により今後予測される被害を回避し軽減する適応策に取り組むことにより、持続可能な脱炭素社会を実現するため、第2次岩手県地球温暖化対策実行計画を策定しました

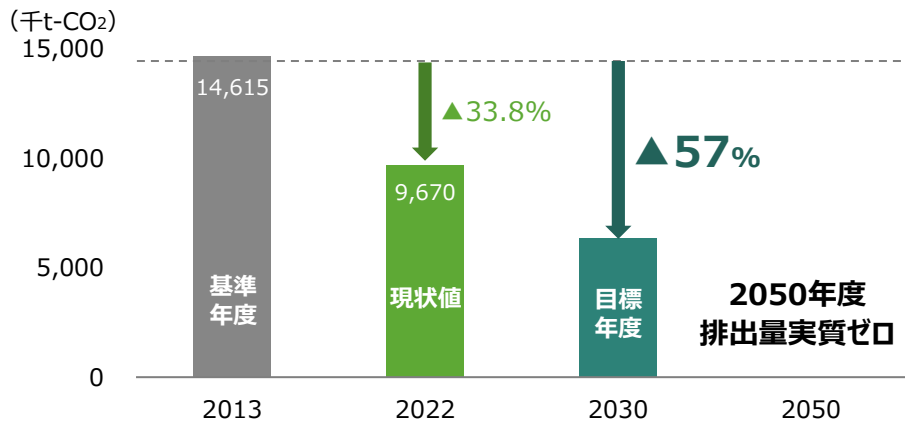
## 目指す姿

省エネルギーと再生可能エネルギーで実現する豊かな生活と持続可能な脱炭素社会

## 目標 (2030年度)

- 温室効果ガス排出削減割合（2013年度比）…… 57%
- 再生可能エネルギー電力自給率 …………… 66%
- 森林吸収量 …………… 1,521千トン

## 温室効果ガス削減目標

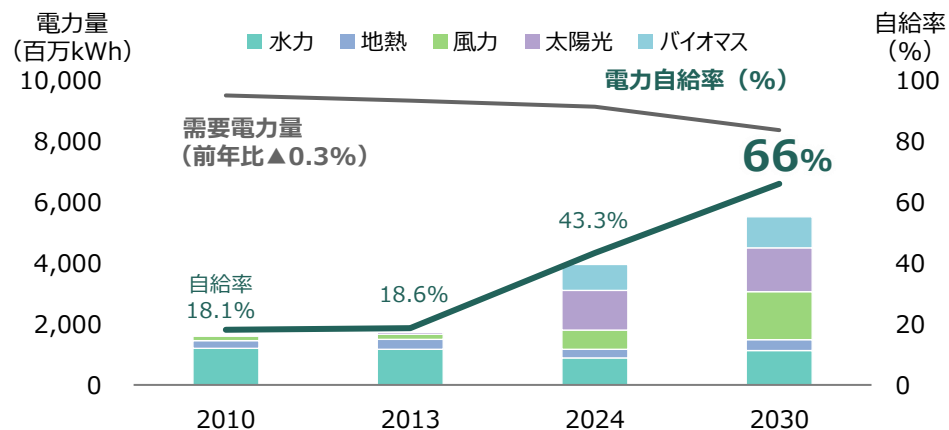


※ 排出量実質ゼロ：排出量から森林吸収量等を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

## 温室効果ガス削減量

削減対策等	目標値	
	削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )	削減割合
削減対策等	▲6,761	▲47%
うち、再エネ導入	▲1,065	▲7%
森林吸収	▲1,521	▲10%
<b>合計</b>	<b>▲8,282</b>	<b>▲57%</b>

## 再エネ電力自給率



# 岩手県グリーン/ブルーボンドの概要



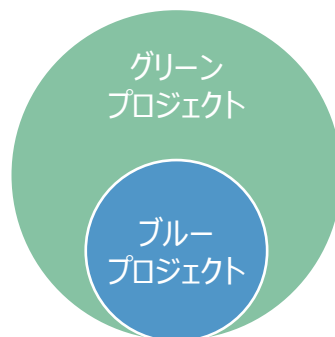


# グリーン/ブルーボンドについて

本県は、本邦地方公共団体で初となる、ブループロジェクトを資金使途に含めた「グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」を令和5年6月に策定し、令和5年7月、令和6年7月、令和7年7月にグリーン/ブルーボンドを発行しました

## グリーン/ブルーボンドとは

- 地球温暖化など環境的課題解決に貢献する取組を「グリーンプロジェクト」と言います
- また、「グリーンプロジェクト」のうち、海洋資源・生態系の保護等に資する取組が「ブループロジェクト」です
- こうした「グリーン/ブループロジェクト」に必要な資金を調達するために発行される債券を「グリーン/ブルーボンド」と言います



イメージ

## 岩手県グリーン/ブルーボンド フレームワークについて

- 岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワークでは、グリーン/ブルーボンドの充当事業の詳細、資金管理方法、レポート項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価については、本県ウェブサイトにて公開しています



岩手県グリーン/ブルーボンドの情報

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/1072370/index.html>



# 岩手県令和7年度第1回公募公債（グリーン/ブルーボンド・5年）発行概要



## 発行の背景

- 森・川・海の豊かな自然が存在する本県の環境保全の取組では、森林、河川、海岸等における多様な自然環境を、人の活動と調和を図りながら体系的に保全することが不可欠です
- こうした背景から、気候変動の緩和または適応に資するグリーンプロジェクトのみならず、海洋資源・生態系の保全等に資するブループロジェクトも資金使途に含めた、グリーン/ブルーボンド・フレームワークを、地方公共団体としては初めて策定しました
- このたびのグリーン/ブルーボンド発行による資金調達により、県内におけるGX（グリーントランスフォーメーション）の推進による地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長を目指す取組を実施するとともに、東日本大震災津波で被災した三陸海岸における海洋と沿岸の保全強化等に資する事業を推進していきたいと考えております

## 岩手県グリーン/ブルーボンドの概要

銘柄名	岩手県令和7年度第1回公募公債（グリーンボンド・5年）
発行総額	50億円
発行日/償還日	令和7年7月25日/令和12年7月25日
利率	年 1.149%（令和7年7月11日条件決定）
主幹事証券会社	大和証券株式会社/野村證券株式会社/S M B C日興証券株式会社
適合性評価	本債券の発行に際し、資金使途などを明記した発行の枠組み（グリーン/ブルーボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版等への適合性について、最上位である「Green1（F）」及び「Blue1（F）」の評価を受けています
購入対象先	機関投資家



# 令和7年度 投資表明一覧

令和7年度グリーン/ブルーボンドでは、93件の投資家の皆様より趣旨にご賛同いただき、投資表明を実施いただきました

## 投資表明投資家一覧

- 株式会社アイオー精密
- 株式会社アイシーエス
- 社会福祉法人 愛生会
- 株式会社石田商会
- 一関市
- 一関信用金庫
- 一戸町
- 岩泉町
- 岩手江刺農業協同組合
- 株式会社岩手銀行
- 岩手県学校生活協同組合
- 岩手県教職員組合
- 一般財団法人 岩手県教職員互助会
- 岩手県空港ターミナルビル株式会社
- 公益財団法人 岩手県国際交流協会
- 岩手県商工会職員協議会
- 岩手県商工会連合会
- 岩手県信用農業協同組合連合会
- 公益財団法人 岩手県水産振興基金
- 岩手建設工業株式会社
- 一般社団法人 岩手県測量設計業協会
- 一般財団法人 岩手県退職教職員互助会
- 公益財団法人 岩手県土木技術振興協会
- 岩手県農業共済組合
- 一般社団法人 岩手県農林漁業団体役職員連盟
- 公益財団法人 岩手県予防医学協会
- いわて生活協同組合
- 岩手日報アドランチ株式会社
- 株式会社岩手日報広告社
- 株式会社岩手日報社
- いわて平泉農業協同組合
- 岩手町
- 宇部建設株式会社
- 奥州市
- 株式会社 大久保建設
- 大船渡市
- 尾張中央農業協同組合
- 金ヶ崎町
- 鹿屋市
- 釜石レミコン株式会社
- 軽米町
- 学校法人北上学園
- 社会福祉法人 北上市社会福祉協議会
- 北上信用金庫
- 北上電工株式会社
- 株式会社北日本銀行
- 社会福祉法人 共生会
- 久慈市
- 葛巻町
- 九戸村
- 株式会社ケイ・シー・ティー
- 株式会社小山組
- 三陸生コン株式会社
- 株式会社三和ドレス
- 株式会社システムベース
- 紫波町
- 住田町
- 有限会社大盛印刷
- 株式会社田中建設
- 種市電工株式会社
- 田野畑村
- 株式会社東北銀行
- 株式会社 トミオカ
- 西和賀町
- 株式会社 二富電機
- 二戸市
- 日本地震再保険株式会社
- 株式会社 日本デスク
- 株式会社 ネクスト
- 野田村
- 有限会社野場造花仏具店
- 八幡平市立病院
- 一般財団法人 ハピネス共済会
- 株式会社ビルド遠藤
- 洋野町
- 株式会社藤森測量設計
- 普代村
- 水沢信用金庫
- 宮城建設株式会社
- 宮古生コンクリート株式会社
- 盛岡ガス株式会社
- 盛岡信用金庫
- 株式会社 盛岡地域交流センター
- 盛岡舗道株式会社
- 株式会社ヤマイチ
- 有限会社山幸造園
- 株式会社山田電設
- 山田町
- 横澤林業株式会社
- 有限会社 横手鋳金工業所
- 陸前高田市
- 株式会社 理水興業
- 社会福祉法人 若葉福祉会

※五十音順

令和7年度  
グリーン/ブルーボンド・フレームワーク  
に基づくレポーティング

# 令和7年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング



令和7年度はグリーンプロジェクト、ブループロジェクトとして以下に充当しました

	事業区分	グリーン・ブルー適格プロジェクト	充当金額(※)	効果/実施事業内容
グリーン プロジェクト	再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電関連設備の導入</li> </ul>	102百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備施設数 5施設</li> <li>推定CO<sub>2</sub>排出削減量 31t-CO<sub>2</sub>/年</li> </ul>
	エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>県有施設における高効率照明の導入</li> </ul>	312百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備のLED化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>整備施設数 4施設 (整備中を含む)</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>信号機のLED化</li> </ul>	636百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入灯数 2,351灯</li> <li>使用電力量86%以上削減見込</li> </ul>
	生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>国定公園・自然公園等施設整備事業</li> </ul>	60百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の適正利用及び環境保護を図るため、自然公園等の施設整備を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>整備箇所数 10箇所</li> </ul> </li> </ul>
	クリーン輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気自動車、プラグインハイブリッド車の導入</li> </ul>	8百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入件数 2件</li> <li>推定CO<sub>2</sub>排出削減量 3t-CO<sub>2</sub></li> </ul>
	気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川改修事業</li> </ul>	840百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川等関連事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施箇所数 15箇所 (整備中)</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>道路環境改善事業 (無電柱化・排水性、透水性舗装への改良)</li> </ul>	90百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>無電柱化推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>整備延長 1km</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業</li> </ul>	512百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施箇所数 51箇所 (整備中)</li> <li>受益戸数 102戸 (整備中)</li> </ul>
合計	金額		2,560百万円	
	比率		51.2%	
ブルー プロジェクト	生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>藻場整備</li> </ul>	223百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>藻場造成実施箇所数 4箇所</li> <li>藻場の造成により、餌場・産卵場の増加に伴う水産資源の回復や藻場による海中の二酸化炭素の吸収が期待されます</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>林道の開設・改良</li> </ul>	145百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備延長 2km</li> <li>林道整備により森林へのアクセスや適切な森林管理が可能となり、水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水源涵養のため、荒廃森林を整備</li> </ul>	1,068百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備箇所数 71箇所</li> <li>森林整備により水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます</li> </ul>
	生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>防波堤、護岸等の整備</li> </ul>	1,004百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備箇所数 35箇所</li> <li>防波堤、護岸等の整備により、安定的な水産業の継続が可能となり、漁業関係者の就業環境の向上が期待されます</li> <li>防波堤、護岸等の整備により、荒天時の高波被害の防止が期待されます</li> </ul>
合計	金額		2,440百万円	
	比率		48.8%	

※ 十万円以下を四捨五入しているため、表中の積み上げと合計が一致しない場合があります



# 令和7年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について①

## 信号機のLED化 (充当金額636百万円)

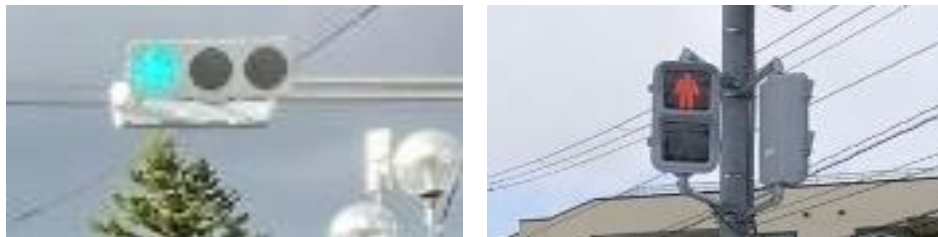
- 良好な道路交通環境の維持に向け、長寿命化による維持管理・更新を計画的に進めるとともに、交通安全施設の省エネルギー化を図るものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
エネルギー効率	● エネルギー使用量の削減

環境改善効果	
導入件数	車灯1,307灯 歩灯1,044灯
使用電力削減量	86%以上削減見込

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、2,351灯の信号機をLED化しました



LED式の信号機

## 電気自動車導入事業 (充当金額8百万円)

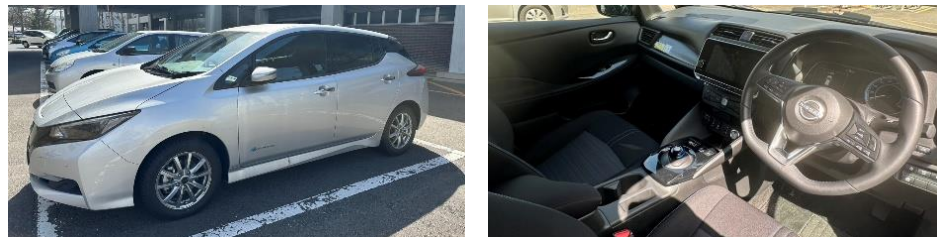
- 運輸部門において環境改善効果の高い次世代自動車の導入促進を図るため、公用車に電気自動車の導入を行うものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
クリーン輸送	● エネルギー使用量の削減

環境改善効果	
導入台数	2台
推定CO <sub>2</sub> 排出削減量	3t-CO <sub>2</sub> /年

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、2台の電気自動車を導入しました



電気自動車



# 令和7年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について②

河川等関連事業のうち

## 基幹河川改修事業（充当金額662百万円）

- 浸水被害が懸念される河川において、浸水被害の軽減を図るため、計画に基づき川幅の拡幅・築堤等の河川改修工事を行うものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害・土砂災害等の自然災害発生時の被害リスクの軽減</li> </ul>

環境改善効果	
整備箇所数	10箇所（整備中） 岩崎川〔矢巾町〕 木賊川〔盛岡市、滝沢市〕 北上川〔岩手町、盛岡市〕 気仙川〔陸前高田市、住田町〕 千厩川〔一関市、千厩町〕 安比川〔二戸市〕 夏川〔一関市〕 小屋畑川〔久慈市〕 馬淵川〔一戸町〕 猿ヶ石川〔遠野市〕

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、10箇所で河川改修工事を実施しました



北上川（上流）

## 国立公園・自然公園等施設整備事業（充当金額60百万円）

- 国立公園や自然公園の利用者の安全性の確保や、公園の適正利用及び環境保護を図るため、自然公園の施設整備を行うものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害・土砂災害等の自然災害発生時の被害リスクの軽減</li> </ul>

環境改善効果	
整備箇所数	10箇所（整備中の箇所を含む）

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、10箇所で施設整備を実施しました



自然公園等施設整備事業



# 令和7年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について③

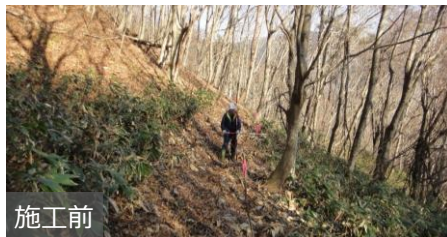
## 林道の開設・改良 (充当金額145百万円)

- 林道整備によって森林へのアクセスを確保し、適切な森林管理を可能とすることで、水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>水源となる森林の持続性を保つことにより、栄養分が豊富な水供給の持続性に寄与するとともに、終局的には海洋における水産資源の維持にも寄与</li> </ul>
環境改善効果	
整備延長箇所数	3箇所（整備中の箇所を含む）
整備延長	2 km
林道整備により森林へのアクセスや適切な森林管理が可能となり、水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます	

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、のべ2 kmの林道の開設・改良を行いました



施工前



施工後

林道赤沢線（一関市）

## 水源涵養のため、荒廃森林を整備 (充当金額1,068百万円)

- 森林整備を行うことにより、水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>水源となる森林の持続性を保つことにより、栄養分が豊富な水供給の持続性に寄与するとともに、終局的には海洋における水産資源の維持にも寄与</li> </ul>
環境改善効果	
整備延長箇所数	71箇所（整備中の箇所を含む）
整備面積	4,918ha
森林整備により水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます	

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、71箇所で森林整備を実施しました



施工前



施工後

田浜地区（大船渡市三陸町綾里）



# 令和7年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について④

## 藻場の整備 (充当金額223百万円)

- 水産動植物の生息場となる藻場などの漁場を整備し、漁場における水域環境の改善と生産力の回復による水産資源の増大などに貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁場における水域環境の改善と生産力の回復に依る水産資源の増大や、安定供給に貢献</li> </ul>

環境改善効果	
整備箇所数	4箇所 (整備中の箇所を含む)

藻場の造成により、餌場・産卵場の増加に伴う水産資源の回復や藻場による海中の二酸化炭素の吸収が期待されます

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、4箇所で藻場造成を実施しました



据付中



据付後

(大船渡地区) 藻場

## 防波堤・護岸等の整備 (充当金額1,004百万円)

- 県内に所在する漁港において、防波堤、護岸等の整備・改良を行い、持続的な漁業生産及び高波による被害防止に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>高波から漁船等を防護することにより、持続的な漁業生産及び高波被害の防止に貢献</li> </ul>

環境改善効果	
整備箇所数	35箇所 (整備中の箇所を含む)

防波堤、護岸等の整備により、安定的な水産業の継続が可能となり、漁業関係者の就労環境の向上が期待されます

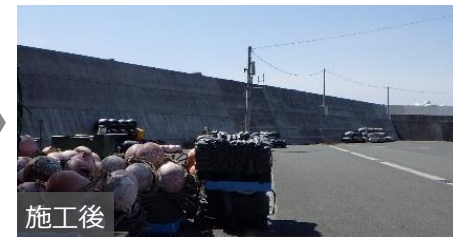
防波堤、護岸等の整備により、荒天時の高波被害の防止が期待されます

### 令和7年度の実施状況

- 令和7年度は、6箇所の防波堤・護岸等の整備が完了しました



施工前



施工後

(広田漁港) 護岸

## 岩手県総務部財政課 調査担当

---

住所 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

TEL 019-629-5104

FAX 019-629-5114

HP <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/index.html>